

報道関係各位

株式会社 OKB総研

県内観光消費から推計する観光関連産業の経済波及効果

OKBグループのシンクタンク（株）OKB総研（岐阜県大垣市郭町2-25 社長 五藤義徳）は、「平成27年岐阜県観光入込客統計調査」に基づき、標題の結果を取りまとめましたのでご案内します。

- 平成27年の観光関連産業の経済波及効果を見ると、「生産誘発額（総合効果）」は4,214億円で県内産出額の3.1%、生産誘発額から中間投入部分を除いた「粗付加価値誘発額（総合効果）」は2,409億円で県内総生産額の3.4%となっている。
- 「就業誘発効果（総合効果）」は3万9,615人で、県内従業者数の4.1%。  
観光関連産業は、運輸業、サービス業などの労働集約型産業が多いため、雇用への波及について比較的高い効果が見込めると言える。
- 観光関連産業は、旅行業・宿泊業・運輸業といった同産業の基幹部分を担う産業のほか、小売業、飲食サービス、娯楽サービスなどが複合的に関連しているため、その裾野は広いと言える。

平成27年県内観光消費額 2,844億円

|            | 直接効果+<br>第1次波及効果※1 | 第2次波及効果※2 | 総合効果     | 県内産業に占める割合    |
|------------|--------------------|-----------|----------|---------------|
| 生産誘発額      | 3,750億円            | 464億円     | 4,214億円  | 県内産出額の3.1%※3  |
| うち粗付加価値誘発額 | 2,100億円            | 309億円     | 2,409億円  | 県内総生産の3.4%※3  |
| 就業誘発効果     | 3万6,007人           | 3,608人    | 3万9,615人 | 県内従業者数の4.1%※4 |

(注)※1県内観光消費により誘発された県内での原材料やサービスの生産に波及する効果

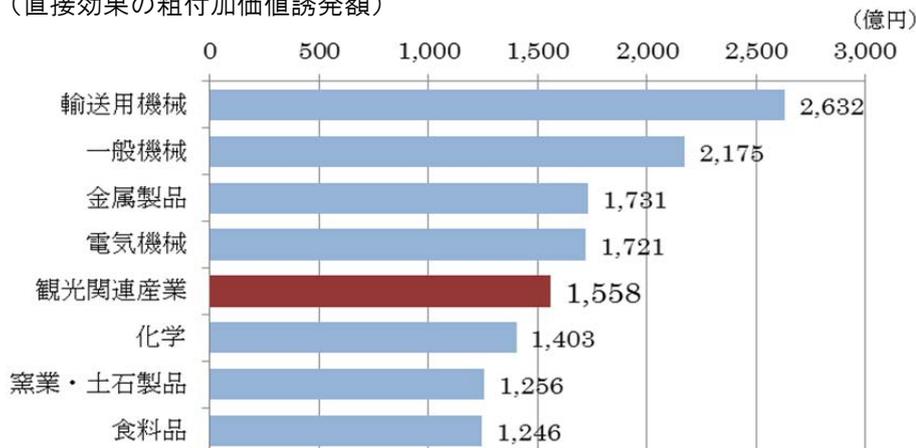
※2観光消費がもたらす家計の所得増加による消費により誘発された、県内での生産に波及する効果

※3平成25年度県民経済計算

※4平成26年経済センサス基礎調査

- 観光関連産業GDP（※）を県内他産業の総生産と比較すると、以下のとおり。

※ここでいう観光関連産業GDPとは、県内観光消費から観光関連産業が生み出す付加価値（直接効果の粗付加価値誘発額）



(注) 観光関連産業は平成25年の物価水準に調整、その他は平成25年度県民経済計算

- 観光関連産業GDPは、本県の基幹産業の一つである輸送用機械（2,632億円）には及ばないものの、金属製品（1,731億円）、電気機械（1,721億円）に次ぐ規模となっており、窯業・土石製品（1,256億円）、食料品（1,246億円）を上回るなど、高い付加価値を誘発している。
- 近年、観光入込客数や観光消費額が増加傾向にあることを勘案すると、観光関連産業は、今後の本県の基幹産業として大きく期待できるものと考えられる。

以上

【本件に関するお問合せ先：(株)OKB総研 調査部 渡邊 剛 Tel. 0584-74-2615】